

脳腫瘍に対する経鼻内視鏡手術の有用性に関する研究

はじめに

大阪脳神経外科病院 間脳下垂体外科・内視鏡センターでは、経鼻内視鏡手術を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

1. 研究概要および利用目的

大阪脳神経外科病院 間脳下垂体外科・内視鏡センターでは、患者さんにより体に優しい手術を提供することを目的に経鼻内視鏡手術をおこなっています。ただし比較的新しい手術方法であるため、その有用性の評価についてはさらなる臨床例の蓄積と解析が必要です。そこで 2021 年 4 月 1 日以降に当院で内視鏡を使って脳腫瘍（下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、ラトケのう胞、髄膜腫、脊索腫、軟骨肉腫、転移性脳腫瘍、炎症性疾患ほか）の摘出手術を受けられた患者さんの治療結果をまとめる研究を実施することといたしました。

2. 研究期間

この研究は、大阪脳神経外科病院倫理審査委員会承認日から 2030 年 12 月 31 日まで行う予定です。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

- 1) 患者さん基本情報:カルテ番号、生年月日、イニシャル、年齢、性別、病理診断、病理組織検体、採血データ
- 3) 手術時間、腫瘍の摘出率、出血量、術中合併症の有無、特定の手術操作
- 3) 術前後の症状変化
- 4) 長期の手術結果(予後)

4. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの資料や情報は直ちに識別することができないよう、匿名化され管理します。

5. 資料・情報等の保存・管理責任者

この研究の資料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

大阪脳神経外科病院 間脳下垂体外科・内視鏡センター 責任者:谷口理章

6. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益……本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益……カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

7. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

8. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

9. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪脳神経外科病院 間脳下垂体腫瘍・内視鏡センター 担当者: 谷口理章
大阪府豊中市庄内宝町 2-6-23
TEL: 06-6333-0080

受付時間: 10:00 - 17:00 (土日祝日・年末年始はのぞく)

研究責任者:

大阪脳神経外科病院 間脳下垂体腫瘍・内視鏡センター 谷口理章